

日本通運株式会社・株式会社近鉄エクスプレス・全日本空輸株式会社  
共同リリース



2007年12月18日

各位

日本通運株式会社  
株式会社近鉄エクスプレス  
全日本空輸株式会社

## 国際エクスプレス事業会社設立に関する三社の基本合意について

日本通運株式会社(本社:東京都港区、社長:川合正矩、以下「日本通運」という)、株式会社近鉄エクスプレス(本社:東京都千代田区、社長:辻本博圭、以下「近鉄エクスプレス」という)および全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、社長:山元峯生、以下「ANA」という)の三社は共同して国際エクスプレス事業会社を設立することに合意し、本日基本合意書を締結致しました。2008年4月に新事業会社を設立しサービス対象地域をアジア域内として速やかに営業を展開してまいります。

経済のボーダレス化により国際物流における企業間物流の需要は急速に伸張しており、さらに企業経営における戦略的ロジスティクスの重要性が増し、お客様からの高品質な一貫輸送へのニーズも高まっております。特にアジア域内においては各企業の生産活動が引き続き加速しており効率的なサプライチェーンを支える高機能な物流サービスが求められております。

このような中、日本通運と近鉄エクスプレスは、高品質で高い競争力を備えた日系フォワーダー独自の航空エクスプレス商品開発についての検討を進めて参りました。一方 ANA は、先般沖縄県と共同で那覇空港に国際貨物基地を設置する計画を発表し、アジア域内に効率性の高い航空ネットワークを構築するとともに、企業間物流を対象としたエクスプレス事業への進出を検討しておりました。

今般、この三社の考え方が一致し、協力して国際エクスプレス事業を推進する新会社設立の合意に至ったものです。三社は対等の精神で事業に参画し、本事業の趣旨に賛同する他フォワーダーの協力も得ながら、新会社の営業開始に向けて各社が保有する経営資源を最大限に提供していきます。新会社はアジア域内における物流の効率化を図り、国内および国際経済の発展に貢献することを目指してまいります。

以上

お問い合わせ先

日本通運広報部

03-6251-1454

近鉄エクスプレス総務部

03-3201-2654

ANA広報室

03-6735-1111

## □ 国際エクスプレス事業会社の概要

- ・出 資 比 率 : 全日空34%、日本通運28%、近鉄エクスプレス28%、  
その他フォワード10%
- ・会 社 機 関 : 取締役会設置会社、監査役設置会社
- ・事 業 内 容 : 利用航空運送事業
- ・そ の 他 : 資本金、商号、本店、定款等については今後設立準備室で検討する。

(今後の予定)

- ・2007年12月18日: 基本合意書調印
- ・2008年1月1日 : 設立準備室設置
- ・2008年4月1日 : 設立予定日(発起設立)

## 《参考資料》

### ■ 日本通運株式会社について

- 名 称 : 日本通運株式会社
- 代 表 者 : 代表取締役社長 かわい まさのり 川合 正矩
- 設 立 : 1937年(昭和12年)10月1日
- 資 本 金 : 701億円
- 従 業 員 : 69,324人(連結ベース2007年9月30日現在)
- 拠 点 数 : 海外37ヵ国・204都市・357拠点(2007年9月30日現在)  
国内約1,100箇所
- 主な事業内容 : ①貨物自動車運送事業  
②利用航空運送事業  
③船舶利用運送事業  
④内航海運業  
⑤鉄道利用運送事業  
⑥倉庫業

## ■ 株式会社近鉄エクスプレスについて

- 名 称 : 株式会社近鉄エクスプレス
- 代 表 者 : 代表取締役社長 <sup>つじもと ひろかず</sup> 辻本 博圭
- 設 立 : 1970年(昭和45年)1月10日
- 資 本 金 : 72億1,600万円
- 従 業 員 : 7,745人(連結ベース 2007年9月30日現在)
- 拠 点 数 : 海外30カ国・186都市・285拠点(2007年9月30日現在)
- 主な事業内容 : ①貨物利用運送事業  
②通関業  
③複合一貫輸送業  
④海上運送事業

## ■ ANAについて

- 名 称 : 全日本空輸株式会社
- 代 表 者 : 代表取締役社長 <sup>やまもと みねお</sup> 山元 峯生
- 設 立 : 1952年(昭和27年)12月27日
- 資 本 金 : 1,600億128万4228円
- 従 業 員 数 : 13,602人(2007年9月30日現在)
- 主な事業内容 : ①定期航空運送事業  
②不定期航空運送事業  
③航空機使用事業  
④その他附帯事業
- 保有機材数 : 旅客機 210機  
貨物機 6機
- 国内線旅客便数 : 50都市118路線812便/日
- 国内貨物便数 : 4都市3路線44便/週
- 国際線旅客便数 : 27都市 35路線610便/週
- 国際貨物便数 : 15都市20路線106便/週